

トリーディングママがゆく⑩ 障害児の放課後の居場所について

横浜市会議員 伏見ゆきえ

討しているようで、こうしたことに關しても質問しました。

当局から前向きな答弁

平成27年度決算特別委員
会局別審査が9月30日から
10月13日まで開催され、都
市整備局、こども青少年局、
健康福祉局に質問しまし
た。

マニフェスト集をもとに4
年間の目標を選挙時に訴
え、その中で、障害児の自
立支援や持続可能な社会保
障制度を目標に掲げていま
す。

そこで、こども青少年局

自民党横浜市会議員団で
は2015年の統一地方選
時に「責任と約束」という
スについて質問致しました。

国費・県費合わせて年額
32億円の予算を投入してい
ますが、横浜市もその中の
4分の1を負担しています。
事業所も3年間で10倍にな
っていますが、質の低下も
問題となっています。

報酬改定については注視
していくことや、局長から
「障害が重たい手厚い支援
が必要な子供を受け入れ適
切に支援していくことが必
要」と回答をいただき、副
市長からも、「特別支援校

また、重症心身障害児の
受け入れ事業所があまり増
えていないことに加え、移
動も心配なところ です。特
別支援学校の中に開設され
れば移動の負担などの心配
もなくなります。

今後、検討すべきテーマと
考えている。教育委員会と
も連携を取り、進めていか
なければならぬ問題であ
る」との答弁をいただきました。



自民党戸塚区連合支部女性局長

伏見ゆきえ

1968年2月24日、川崎で誕生 2歳で横浜へ
私立橋女子高等学校卒業、歯科医院に勤務、東
京中央ヤクルト販売㈱ヤクルトレディーに、
歯科医院に勤務、2015年横浜市会議員初当選

-----連絡事務所-----

戸塚区上倉田町389の102

☎045・443・5757 ☎045・443・5671

http://fushimiyukie.com/

厚生労働省では、平成30
年の報酬改定に向けて放課
後等デイの事業の改善を検

し、今後の取り組みをしつかりと見つめていきます。